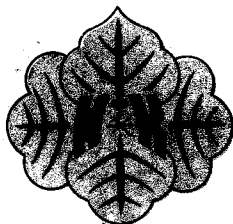


しんが

S. 22 ~ 27

広島県 観音高等学校



も く じ

はじめに.....	1
旅程表.....	2
日程表.....	3
役務分担表.....	13
災害対策組織.....	14
わこうど号座席割.....	14
バス編成表.....	16
宿舎所在地.....	16
宿舎割当.....	17
旅行の心得.....	20
アンケート.....	22
クラス文集作成について.....	24
班員名簿.....	27
うたごえ.....	32
日 記.....	40
小遣帳・持ち物おぼえ.....	46
携 行 品.....	47

はじめに

館 弘 志

修学旅行という学校行事は、いつ頃から実施されてきたのかははっきりしないが、法律的に制度として確立されたものではなく、自然発生的に成立したもののようである。

大変古い話で恐縮であるが、修学旅行の教育的意義を、明治28年の「教育辞書」では、その目的は『…主として教授の為ることあり、身体の為ることあり、一般に見聞を広める為なりと言えども、要するに旅行は教員児童の共同事業なるを以って、その間に訓練上利用すべき部分も頗る多し』と書いている。修学旅行をとおして、共同の精神・秩序の思想・知性の陶冶・個性の陶冶……等々をおこなうということであろうか。数十年を経た今日では修学旅行の意義、目的はやゝ変わってきてはいるが、集団での行動をとおして社会的・市民的態度を身につけ、見学地の自然美、文化遺産に接して自然と人間とのかかわりを考え直してみようとする基本的姿勢には変りはなく、その目的もここにある。

ソ連には『愚かなる者は森に入っても何も見ない』という古い諺がある。見る気のない者は森に入っても、美しい花も、緑なす樹陰も、小鳥のさえずりも、自然の営みそのものが目に入らないということであろう。

諸君は『愚かなる者……』になることなく、この機会をとおして、友情とは何か、自然と自己とのかかわりとは何か、集団の中での個人はどうあるべきか等々、体験をとおしてしっかり考えてきて欲しい。

—— 1人1人の生徒諸君にとって有意義で実り豊かな旅行になることを祈る ——

旅 程 表

月日	行	程	宿 泊
第一日	10/22 火	広島駅正面団体待合所 広島 (急行)わこうど号 19:52 14:44 大阪 21:04 (急行)ちくま2号(指定) 21:50	車 中 泊
第二日	10/23 水	5:54 10:00 10:46 (15) 12:19 12:45 17:30 長野—善光寺—扇沢—黒四ダム—扇沢—大町—松本—上高地 6:28 (朝食) 7:30 10:30 12:03 (昼食) 13:20	上高地 村営ホテル 西米屋 (59) 五千尺ロッヂ
第三日	10/24 木	(15) 15:30 16:00 ビーナライン 17:30 18:00 自由散策—上高地—松本—塩尻—諏訪—霧ヶ峰高原—白樺湖(車山) (明神池・大正池) 12:00 16:15	ホテル ビーナス 15:47
第四日	10/25 金	9:10 12:00 13:40 (15) 17:00 白樺湖—蓼科—国界—甲府—御坂峠—富士急ハイランド—奥庭…御庭…富士五合目—河口湖 8:00 9:30 12:50 (昼食) 13:10 東海道自然歩道 一本木…足和田山…紅葉台 (15)	富士急ハイランド ホステル 20:7
第五日	10/26 土	(15) 9:10 伊豆スカイライン 10:30 11:40 14:30 河口湖—御殿場—芦の湖—十国峠—大仁—浄蓮滝—石廊峠 7:30 9:30 (昼食) 11:10 12:20 (15) 16:30 17:30 18:30 熱帯植物園—オレンジセンター—伊東—熱海(後楽園)—熱海駅 15:30 16:50 (夕食・入浴) 21:30 22:32	車 中 泊
第六日	10/27 日	6:20 (急行)わこうど号 11:23 大阪 (朝食) 広島 解散	

事故の場合の連絡所 (12:00~)
 (61) 2539 日下交通会社

日程表

第 1 日 (10月22日) (火) (広島～大阪～)

時刻	行程	備考	観察・見学場所
13:40	集合点	広島駅正面団体待合所付近	
	結団式	訓辞・諸注意	
14:00	ホーム入場	指揮係HR主任先導	
	乗車点呼		
14:44	広島駅発		
18:00	夕食	各自持参の弁当	
19:57	大阪駅着	ホーム整列点呼→待合室へ	
21:04	大阪駅発	先発ちくま1号	
21:50	"	後続ちくま2号	
23:00	点呼	自分の座席	
23:30	就寝	"	
MEMO			

第 2 日 (10月23日) (水) (長野～上高地)

時刻	行 程	備 考
5:54	長 野 駅 着	先発 下車後点呼ーバス乗車
6:28	"	後続 " "
6:20) 朝 食(善光寺見学)	兄部坊 靴は脱いでビニール袋
7:30		
10:00	大 町 着	
10:30	扇 沢 着	
10:46	扇 沢 トロリーバス発	
11:40) 黒 四 ダ ム	[写真]・自由行動 3F → 4
12:03	黒部トロリーバス発	
12:19	扇 沢 着	
12:25	扇 沢 発	
12:45) 大 町 (昼 食)	ドライブイン「黒部路」
13:20		
15:30	松 本 着	
17:30	奈 川 渡 ダ ム 着	トイレストップ
17:30	上 高 地 着	村営ホテル
21:00	食 事・入 浴	(西 条 屋) 分宿 2階が宿屋 3F → C
21:00	点 呼	五千尺ロッヂ
21:30	就 寝	

考 察 (学習パンフレットを読んで各自記入しよう)	M E M O
<p> 「信濃には月と仏とおらがそば」 小研一茶 善光寺一光三尊仏 (善光寺如来) </p> <p> 黒四ダム (黒部川第四発電所) 世界第4位のアーチ式ダム、高さ186m、堤頂巾8.1m 堤頂長475m </p> <p> 奈川渡ダム 渓谷に沿ってアーチ式ダムと揚水式発電所群(90万kw) かまにネル... せぬみよう! </p>	

第 3 日 (10月24日) (木) (上高地～白樺湖)

時 刻	行 程	備 考
6:00	起床点呼 朝食 自由散策 (明神池・大正池)	朝食は自由に <u>荷物をまとめ弁当を受取り自由行動</u>
8:00		
11:00	集合	バス駐車場 <u>写真撮影後バス乗車</u> 計 → A
	塩尻	トイレストップ「クランボ」
	上 諏 訪	
17:30	霧ヶ峰高原	5:45～夕食
18:00	白樺湖(車山)着	ホテルビーナス(ジニアズワン料理)
	夕食・入浴	入浴 A, B, C → 2:30～
21:30	点呼	5:00 映画
22:00	就寝	9:30 夜店(水)

考 察 (学習パンフレットを読んで各自記入しよう)	M E M O
<p>上高地自然研究路 自然の探究、溪谷、山岳、森林、湖沼、高原、溪流、温泉などの風景の要素をそなえている。</p> <p>明神池コース (河童橋—小梨平—明神橋—明神池—河童橋) 大正池コース (河童橋—ウエストーン碑—田代橋—田代池—(約2時間)—大正池—帝国ホテル—河童橋)</p> <p>霧ヶ峰湿原植物群落 (八島ヶ原湿原、踊場湿原、車山湿原)</p> <p>白樺湖 もと池の平の湿原地帯、周囲6km、深さ10mの人造湖</p>	

第 4 日 (10月25日) (金) (白樺湖～河口湖)

時刻	行程	備 考
6:00	起床点呼	
7:00	朝食	
8:00	車山発	倉庫の部屋まで!
8:10	白樺湖科	
	茅野	
9:10	国界	
9:30		トイレストップ「甲斐駒ドライブイン」
	甲府	
	御坂峠	
12:00	}河口湖(昼食)	富士急ハイランドレストラン
12:50		
13:00	河口湖発	A → 3K
	富士五合目	奥庭一御庭一富士五合目
	東海道自然歩道	一本木一足和田山一紅葉台
17:00	河口湖着	富士急ハイランドホテル 着いた各部屋に! 初めと自由
	園内自由行動	5:30まで
18:00	夕食・入浴	(担当) A 添 18:00 19:00 自由
21:30	点呼	
22:00	就寝	

考 察 (学習パンフレットを読んで各自記入しよう)	M E M O
<p>霧ヶ峰、蓼科高原 八ヶ岳連峰の西にひろがる大草原の溶岩台地 ニッコウキスゲ、スズラン、マツムシソウなどの高山植物</p> <p>河口湖 北岸産屋ヶ崎からの「さかさ富士」が一番美しい</p> <p>富士五合目 2340m (小御岳)</p> <p>“夕暮の空に富士ありわが心着くところなく旅の道行く” 尾上 柴舟</p> <p>夕方の赤富士、早朝の富士の雄姿に期待</p>	

第 5 日 (10月26日) (土) (河口湖～熱海)

時刻	行程	備考
6:00	起床点呼	
7:30	朝食 河口湖 御殿の湖 芦根関所跡	クマの森
9:10	十国峠	トイレストップ
10:30	} 大仁 (昼食)	帝産ヘルスセンター
11:10		
11:40	} 浄蓮滝見学	峠
12:20		
14:30	} 天城峠 石廊崎見学	熱帯植物園 写 A → 林
15:30		
16:30	下田 オレンジセンター	トイレストップ
17:30	伊東	トイレストップ
18:30	熱海夕食・休息	後楽園ヘルスセンター (入浴自給)
21:30	熱海後楽園発	
22:32	熱海駅発	
23:30	点呼・消灯・就寝	

考 察 (学習パンフレットを読んで各自記入しよう)

M E M O

芦ノ湖

箱根山上にできた火口原湖 水温は年間を通じて4℃以上
で冬でも凍らない。

*入鉄砲に出女

天城峠 伊豆の踊子の叙情をしのばせる。今はトンネル…

下田 近代日本黎明の地

黒船来航、開港にまつわる史蹟が随所にあるが、今は温泉
町として発展している。(蓮台寺温泉から引湯)

熱海 約460ヶ所の源泉、毎分13,000ℓ湧出の大温泉地

第 6 日 (10月27日) (日) (熱海～広島)

時 刻	行 程	備 考
6:30	起 床 点 呼	大阪で弁当積み込み
7:30	朝 食	
11:00	下 車 準 備	ホーム整列 点呼 解団式
11:23	広 島 駅 着	
11:50	解 散	

役 務 分 担 表

職 員 の 部

• 印は係主任

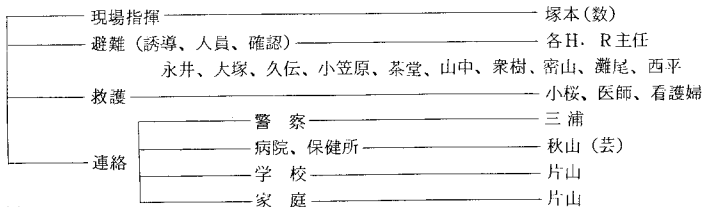
職 務	内 容	係
団 長	学校代表・総括	○ 校長
副 団 長	団長補佐・総指揮	○ 佐藤(理)
本 部	企画立案・渉外・諸届・全体の総括連絡・生徒の総指揮・学校その他との通信連絡	○ 佐藤(理)、山中、久伝
輸送・宿舍	輸送計画・列車・バス座席割当・旅館内諸割当・バス編成	○ 山中、久伝
生 活	食事管理・割当・指導・生徒指導・風紀補導・災害対策・面会・遺失物・その他	○ 永井、西平、衆樹、塚本(数) 片山、久伝、三浦
学 習	葉の作成・事前指導・見学・レクリエーション・事後処理・自由散策班編成	○ 密山、灘尾、茶堂
記録・写真	諸記録計画・記録写真・H. Rアルバム写真、展示	○ 小笠原、秋山
保 健	保健衛生・救急	○ 小桜
会 計	旅費その他の収支・予算・決算・パス	○ 大塚
研 究	修学旅行に関する研究	○ 密山、灘尾、本部

生 徒 の 部

修学旅行委員 室 長 (副)	H. R. Tの下で列車バス・旅館および行動中のH. R各班との連絡・統率の任にあたる、また旅行計画などにも参加する。	各ルーム男女1名
班 長	各班の人員の把握・風紀などの面で班員の中心となり、災害、事故の防止につとめる。 弁当・湯茶の供給などの庶務。	各班1名
副 班 長	班長を補佐する。	各班1名
学 習 委 員	学習・研究の主題について調査・研究(旅行の葉・学習パンフレットの作成)	各ルーム男女1名

災害対策組織

総指揮
(館・佐藤(理))



わこらど号座席割 10月22日(往路)

(号車)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		観	音	高	校		柳	井	高	校	→東京 340名

1号車

運 転 席	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	1	3	5	7	9	11	13	15	17
		3K		西片 平山	灘天 尾		I組		

2号車

	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	S ₄
I→											S ₃
											S ₂
	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	S ₁
							衆密 樹山				

3号車

	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	S ₄
G組											S ₃
											S ₂
	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	S ₁
									山小 中	看 護 婦	

4号車

	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	
E組											
	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	
				茶小 堂笠	真						
										C組	S ₂
											S ₁

351) 2号 3号車 //

5号車

2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	S ₄
	C	組					B	組		S ₃
1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	S ₂
					久添 大家 乗員					S ₁

6号車

2	4	6	8	10	12	14	16	18		運
			A	組		佐藤 長 添 三浦 乗 秋山 員		柳井 高校		転
B										席
1	3	5	7	9	11	13	15	17		

10月25日 (復路)

(号車) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

下関← 柳井 高校 340名 観 音 高 校 466名

5号車

2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	S ₄		
柳井 高校	添乗員 永井山		A	組	男	A	組	女	B	組	女	S ₃
3	5	7	9	11	13	15	17	19				S ₂
	添乗員 佐藤大 長藤家											S ₁

6号車

2	4	6	8	10	12	14	16	18	久添 乗員	運	
B		B	組	男	C	組	男	C	組	女	転
1	3	5	7	9	11	13	15	17		台	
									S ₂		
									S ₁		

7号車

運	茶	小	2	4	6	8	10	12	14	16	18
転	堂	笠	D	組	女	D	組	男	E	組	男
台		原				E	女				
	S ₂		1	3	5	7	9	11	13	15	17
	S ₁										

8号車

2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	G
E	組	女	F	組	女	F	組	男	山 中核	転
1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	台
									G	
									組	
									男	
									S ₂	
									S ₁	

9号車

2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	衆密 樹山	
G	組	女	H	組	女	H	組	男	I	組	男
1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	S ₂	
										S ₁	

10号車

2	4	6	8	10	12	14	16	18	西片 平山	運
I	組	男	I	組	女	3K	女	3K	山	転
1	3	5	7	9	11	13	15	17	医	台
									S ₂	
									S ₁	

→東京

バス編成表

先導車 学主任(佐藤) 添乗員	1号車 A組 永井・添乗員	2号車 B組 秋山・大塚	3号車 C組 久伝・添乗員	4号車 D組 小笠原・写真	5号車 E組 茶堂・三浦
	6号車 F組 山中・添乗員	7号車 G組 衆樹	8号車 H組 密山・塚本	9号車 I組 灘尾・医師	10号車 3 K 西平・片山 小桜・看護婦・添

宿舎所在地

月日	旅館関係	住 所	電 話
10/23	村宮ホテル	長野県南安曇郡安曇村 4467	上高地 026395 2231
10/23	五千尺ロッヂ	” ”	” 2221
10/23	西糸屋山荘	” ” 4468	” 2206
10/24	ホテルビーナス	長野県茅野市地山字入之嶺 3413-1	白樺湖 026668 2221
10/25	富士急ハイランド	山梨県南都留郡河口湖町剣丸屋 6663-9	吉田 0555 (3) 2111

旅人は時に感傷の心あり

犬ひとつゝゐて畑を歩く

—茂吉—

宿舎割当

10月23日(水) 五千尺ロッヂ(上高地)

()内は出席番号

組	男	子	女	子				
A	1号(1-6)	2号(7-15)	3号(16-21)	27号(22-25)	28号(31-36)	26号(37-42)	15号(43-52)	
B	20号(1-13)	21号(14-24)			4号(31-27)	5号(38-46)	6号(47-52)	
☐	22号(1-12)	21号(13-24)			7号(31-36)	8号(37-42)	9号(43-47)	10号(48-52)
☐	24号(1-12)	25号(13-17)	30号(18-24)		11号(31-35)	12号(36-40)	13号(41-45)	14号(46-52)
	職員 18号三浦 茶堂 大塚 小笠原			29号 永井 看護婦				

10月23日(水) 西糸屋(上高地)

組	男	子	女	子		
C	おおるり(1-8)	かつこう(9-16)	きつつき(17-24)	せきれい(31-38)	こまどり(39-45)	ほととぎす(46-52)
3K	くろつぐみ(1-10)			ひわひばり(32-41)	うぐいす(21-31)	
	職員 西平 片山 久伝					

10月23日(水) 村営ホテル(上高地)

組	男	子	女	子				
F	111号(1-8)	112号(9-16)	113号(17-24)	116号(31-38)	117号(39-45)	118号(46-52)		
G	132号(1-8)	133号(9-16)	135号(17-24)	136号(31-27)	137号(38-45)	138号(46-52)		
H	216号(1-6)	217号(7-12)	218号(13-18)	220(19-24)	221号(31-35)	212号(36-41)	213号(42-47)	215号(48-51)
I	222号(1-8)	223号(9-16)	225号(17-25)	228号(31-34)	230号(35-40)	231号(41-46)	232号(47-52)	
	職員 本部 236号 学校長・佐藤 235号 山中・衆樹 233号 密山・灘尾・塚本 227号 小桜・秋山 221号 医師・写真							

10月24日(木) ホテルビーナス(車山高原)

組	男	子	女	子	
A	ききょう(1-6)	いしかかみ(7-13)	りんどう(14-19)	こまくさ(20-25)	1553(31-38) 1554(39-45) 1555(46-52)
B	1527(1-5) 1528(6-10) 1529(11-15) 1530(16-20) 1531(21-24)				1533(31-38) 1534(39-45) 1535(46-52)
C	1536(1-6) 1537(7-12) 1538(13-18) 1540(19-24)				1541(31-38) 1543(39-45) 1544(46-52)
D	1548(1-6) 1550(7-12) 1551(13-18) 1552(19-24)				1545(31-38) 1546(39-45) 1547(46-52)
E	2101(1-8) 2102(9-16) 2103(18-24)				2104(31-38) 2105(39-45) 2106(46-52)
F	2110(1-5) 2111(6-10) 2112(11-15) 2113(16-20) 2114(21-24)				2107(31-38) 2108(39-45) 2109(46-52)
G	2201(1-8) 2202(9-16) 2203(17-24)				2204(31-37) 2205(38-45) 2206(46-52)
H	2207(1-8) 2208(9-16) 2209(18-24)				2210(31-36) 2211(37-42) 2212(43-47) 2213(48-51)
I	1507(1-6) 1508(7-12) 1509(13-18) 1510(19-24)				1505(31-37) 1506(38-44) 1511(45-51)
3K	1521(1-5) 1522(6-10)				1523(21-26) 1524(27-31) 1525(32-36) 1526(37-41)

職員 本部 1 A 学校長・佐藤・山中 1 B 三浦・茶堂・片山・密山 1501 永井・小桜・秋山・看護婦
 1502 灘尾・久伝・小笠原 1532 西平・大塚 2214 衆樹・塚本 1503 医師・写真
 1504 添乗員

10月25日(金) 富士急ハイランドホテル(河口湖)

組	男 子			女 子		
A	201(1-8)	202(9-18)	200(19-25)	210(31-38)	211(39-45)	212(46-52)
B	203(1-8)	204(9-16)	205(17-24)	213(31-38)	214(39-45)	215(46-52)
C	206(1-8)	207(9-16)	208(17-24)	209(31-38)	219(39-45)	あざみ(46-52)
D	301(1-8)	302(9-16)	300(17-24)	311(31-38)	312(39-45)	313(46-52)
E	303(1-8)	304(9-16)	305(17-24)	314(31-38)	315(39-45)	316(46-52)
F	306(1-8)	307(9-16)	308(17-24)	309(31-38)	321(39-45)	322(46-52)
G	401(1-8)	402(9-16)	403(17-24)	419(31-37)	420(38-45)	421(46-52)
H	404(1-8)	405(9-16)	406(17-24)	422(31-37)	423(38-44)	424(45-51)
I	409(1-8)	400(9-16)	411(17-25)	425(31-38)	426(38-44)	427(45-51)
JK	203(1-10)			221(21-28)	222(29-35)	224(36-41)

職員 りんどう(2階) 大塚・久伝 はぎ(2階) 西平・片山 しやくなげ(2階) 永井・秋山

ふじざくら(2階) ききよう(2階) 添乗員

3階 愛鷹 衆樹・灘尾 長尾 小桜・看護婦 宝永 密山・塚本

本部 籠坂 学校長・佐藤 三つ峠 山中・三浦 小御岳 小笠原・茶堂 415号 医師・写真

旅行の心得

A 行動一般について

1. 団体の規律をよく守り観音高校生として恥ずかしくない行動をとること。
2. 団体行動であるから、他人に迷惑をかけず、指揮者（教師・添乗員・旅行委員・班長等）の指示にしたがひ、秩序ある行動をとること。 *注意は5分前に!*
3. 風紀行動には特に注意し、旅の恥はかき捨てというような言動はつつしみ、日常の学園生活の成果をますます高めるように努めること。

B 集合点呼

1. 各HRは男女とも出席番号順に一列に並び旅行委員は先頭に位置する。
2. 点呼連絡は、班長→旅行委員→HR主任→総指揮者とする。
3. 点呼時その他で単独行動（トイレその他）の場合は、班長にとどけて行動すること。

C 宿舎での心得

1. 定められた部屋割りは厳守し、勝手に交替することはしない。 *変えかけないよう!*
2. 就寝時間、起床時間は厳守すること。
3. 旅行中、宿舎での思い出はまた格別なものである。皆で楽しく、また充分休息できる雰囲気をつくるよう心がけよう。

D 車内での心得

1. 列車内では、他の乗客の迷惑になるような放歌・高笑はつつしみ、旅のエチケットを心得て行動すること。

→ かつろい F 服装がよい (下車は制服)

2. 列車内での消灯後は、自分の席からはなれず、眠れなくても静かにしていること。ホーム、下りホームにまげい、

ホームは水リ袋のり
靴ははきまわすように

E 見学上の心得

1. 自然愛護に留意し、特に国立公園内の動物・植物に傷をつけないこと。
2. 登山者や地元の人々に出会ったら挨拶をしよう。そして下山者が登山者に出会った時には道を譲ろう。

F 保健衛生

1. 旅行中の自分の健康には特に留意し、楽しい旅ができるようにしましょう。
 - イ. 睡眠を十分とること。
 - ロ. 暴飲暴食は消化器を弱め、いろいろな病気の原因になるので気をつけよう。
2. 身体的に異常のある場合には、早くHR主任又は養護教諭に申し出ること。

G 安全対策

1. 災害は各自の不注意・ゆだん・常軌を逸した行動から起ることが多い。お互いに注意しあって、規則正しい行動をし事故を未然に防止することが大切である。
2. 旅館では、建物の構造・**非常口**を必ず確認すること。
3. 非常事態が発生した場合は、教師に連絡し、それぞれの係の指揮に従って、冷静に秩序ある行動をすること。

H 服 装

1. 学校規定の制服、靴を着用すること。
2. 車中・宿舎では、派手でなくつろいだ服装になってもよい。
3. 高地で宿泊するのでセーター等を用意すること。
4. 登山できる服装・靴を用意すること。